



能登教区通信

このたび、標記通信2019年6月号を発行いたしましたので、ご一読のほどお願い申し上げます。

発行責任者 真宗大谷派 能登教務所長 篠原 亨栄

教区教化事業のご案内

◆宗教法人事務講習会◆ 能登教区過疎問題対策委員会

- ・日時 2019年6月 6日(木) 午後1時30分～午後4時
- ・会場 第3山方組光濟寺(志賀町代田)
- ・対象 住職、代務者、坊守、寺族、門徒(責任役員・総代)

◆こころの広場◆ 同朋会推進部門

- ・日時 2019年6月15日(土) 午後2時～午後4時
- ・講師 立島 秀哲 氏(高岡教区称名寺)
- ・講題 賀古(かこ)の教信沙弥の定(じょう)
- ・参加費 500円

◆夏の子どものつどい◆ 青少幼年部門

- ・日時 2019年7月29日(月)～31日(水)
- ・会場 能登教務所
- ・対象 小学4年生～中学3年生
- ・参加費 7,000円
- ・備考 詳細は来月の教区通信にてご案内いたします。

◆暁天講座◆ 同朋会推進部門

- ・日時 2019年8月1日(木)～5日(月) 午前5時～午前6時
- ・講師 8月 1日(木) 重藤 明 氏 (第2組 長永寺)
2日(金) 奥村 文秀 氏 (第1組 本乗寺)
3日(土) 安藤 真 氏 (第7組 願誓寺)
4日(日) 隆 彰見 氏 (第11組 聖徳寺)
5日(月) 不二井悟史 氏 (穴水組 西蓮寺)
- ・テーマ つながりを生きる
- ・備考 講座後に、軽食(パンと飲み物)をご用意いたします。

教化事業・その他行事のご報告

◆宗教法人事務講習会◆ 過疎問題対策委員会



さる5月15日(水)、のとふれあい文化センターにおいて開催された過疎問題対策委員会主催による「宗教法人事務講習会」に参加させていただきました。

私自身、数年前に公務員を定年退職し、寺の法務等もほとんど知らないまま、田舎の自坊に帰ってきた状態でもあります。また、何分、経験や知識も浅く、ましてや宗教法人に関する事柄等も全くと言っていいほど知らないのが実情でありました。

今回、講習会を受講させていただき、又、丁寧な職員の説明もあって、宗教法人の管理運営、各種申請、法人事務の実務等に関し、ある程度の知識を会得することが出来ました。

現在、寺を取り巻く環境は核家族による法務の減少や過疎化による影響も大きく誠に厳しい状況に陥っており、今後、規則の変更や合併・解散等がますます増加することは間違いありません。今後の寺と門徒さんとの将来を考える上においても、今回の講習会は私にとって大変有意義であり、本当に貴重な時間を過ごさせていただきました。また機会があればすすんで参加しようと考えています。ありがとうございました。

〈第10組嚴徳寺 秦 賢良 記〉

本山・教区事務についてのご連絡

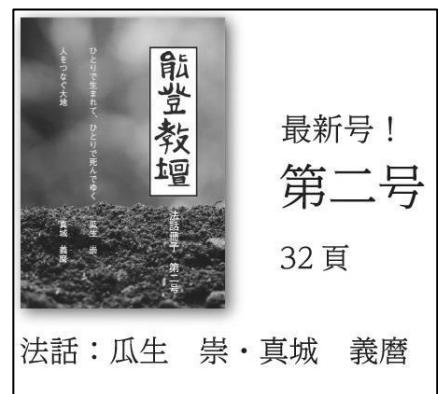
◇能登教壇 最新号の発行について◇

このたび、法話冊子『能登教壇』の第二号を発行いたしました。1冊無償にて贈呈いたします。

1冊50円にて有償頒布もいたしております。同封のチラシもご活用いただき、有縁の方に是非お勧めください。

また、前号の第一号につきましても、在庫がございますので、第二号とあわせて御奨励くださいますようお願いいたします。

なお、来月の各御寺院宛ての教区通信発送において、組門徒会員への贈呈分を同封いたします。



◇教務所事務休暇について◇

下記期日を事務休暇とさせていただきます。ご不便をおかけいたしますが、よろしく申し上げます。

2019年6月21日(金) 教区同朋大会代休のため

【緊急連絡先携帯番号 090-5685-5611】

◇本山経常費完納寺院◇(2019.4.1~4.30迄)

2018年度本山経常費をご完納いただき、有難うございました。ここにご披露申し上げ、御礼に代えさせていただきます。

第3浜方組 西念寺 穴水組 清琳寺 第7組 正覺寺 長誓寺

◇住職就任◇(教区通信5月号掲載以降)

第1組 極樂寺 橋本 信知 2019年4月28日
 穴水組 光宗寺 住川 佑見 2019年4月28日
 第14組 宗貞寺 三枝 敦 2019年4月28日

◇代務者就任◇(教区通信5月号掲載以降)

第6組 西龍寺 河崎 義一(第7組 專照寺住職) 2019年4月9日
 第10組 慶信寺 石井 孝俊(第10組 慶信寺衆徒) 2019年4月10日
 第5組 正光寺 畠山 久雄(第5組 正光寺副住職) 2019年4月15日

◇敬弔◇(教区通信5月号掲載以降)

御生前の御苦勞を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

第3浜方組 専長寺 前坊守 保川 輝子 2019年4月28日

◇おすすめ出版物の紹介◇

◇仏さまの願い—四十八のメッセージ◇

「仏さまの願い(本願)に学ぶということは、仏さまの願いに「私と私の世界」の課題を聞き続け、応え続けた親鸞聖人の歩んだ道に思いを馳せ、自分自身が生きることの意味を尋ねることです。」(「はじめに」より)

浄土真宗の正依の経典『仏説無量寿経』に説かれる阿弥陀仏の四十八願。すべての衆生を救い、平和・平等・自由の世界を願うこの四十八願に、現代を生きる人間と社会の課題を尋ねる。筆者による四十八願の現代語訳付き。≪尾畑文正著/東本願寺出版/新書判/264頁/定価：780円(税別)≫



※この教区通信は能登教区ホームページよりPDFファイルでダウンロードすることができます。適宜ご活用ください。

能登教区教化テーマ
 能登教区教化スローガン
 能登教区ホームページアドレス URL

ほとけさまに会いにきたいのち、今ともに生きよう
 一人一人が親鸞聖人に向き合う生活を
<http://ohigashi-noto.jp/>